

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	19-5																																																
PDCA	主要事業名	特定健康診査等事業	部課名	福祉部健康課	担当	大川																																																
					内線	356																																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 1 単位施策： 地域医療体制																																																					
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 115,856 千円																																																					
	会計 国民健康保険事業特別会計 歳出科目 04.01.02.02.01																																																					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																																					
	事業概要等	<p>事業概要： かかりつけ医と連携し、個別健診方式で、40歳から74歳までの被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した特定健診・特定保健指導を継続実施する。受診率向上のため、ハガキによる受診勧奨や電話勧奨等を実施する。</p> <p>事業目的： 被保険者の健康意識を高め、メタボや生活習慣病の重症化を予防する。保健指導により生活習慣や健康状態を改善させる。</p> <p>事業内容： 特定健康診査・特定保健指導を実施する。受診率向上のため未受診者に対し、受診勧奨を行う。</p> <p>問題点・課題等： 特定健診受診率・特定保健指導終了率の向上。</p>																																																				
	予算額	主要事業とする理由																																																				
	115,856 千円	被保険者のQOL（生活の質）向上や健全な国保財政（医療費の抑制）のため。																																																				
	財源内訳	得られる成果																																																				
	市費	被保険者の健康の保持・増進、生活習慣病重症化予防、医療費抑制を図ることができます。																																																				
	36,685 千円	目標値や目指すべき状態																																																				
	国費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>53.2</td> <td>53.2</td> <td>53.5</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>58.0</td> <td>59.0</td> <td>60.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導利用率</td> <td>36.6</td> <td>36.6</td> <td>34.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>37.0</td> <td>39.0</td> <td>41.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>79,171 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						実績値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	特定健康診査受診率	53.2	53.2	53.5	—	%		目標値	58.0	59.0	60.0	%	特定保健指導利用率	36.6	36.6	34.0	—	%		目標値	37.0	39.0	41.0	%	その他	79,171 千円						実績値						目標値				
		実績値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																																
	特定健康診査受診率	53.2	53.2	53.5	—	%																																																
		目標値	58.0	59.0	60.0	%																																																
	特定保健指導利用率	36.6	36.6	34.0	—	%																																																
	目標値	37.0	39.0	41.0	%																																																	
その他	79,171 千円																																																					
	実績値																																																					
	目標値																																																					
0 千円																																																						
県費																																																						
79,171 千円																																																						
その他																																																						
0 千円																																																						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																																				
	108,089 千円	<p>特定健康診査は対象者の51.0%の9,268名に実施できた。特定保健指導は対象者の26.2%の272名に実施し、面接等を通じて半田市国保被保険者の生活習慣の改善につながった。</p>																																																				
		成果指標																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>51.0</td> <td>51.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>60.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導利用率</td> <td>26.2</td> <td>26.2</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>41.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						実績値	令和3年度	単位	特定健康診査受診率	51.0	51.0	%		目標値	60.0	%	特定保健指導利用率	26.2	26.2	%		目標値	41.0	%																												
		実績値	令和3年度	単位																																																		
特定健康診査受診率	51.0	51.0	%																																																			
	目標値	60.0	%																																																			
特定保健指導利用率	26.2	26.2	%																																																			
	目標値	41.0	%																																																			
C 課題の整理	事業の評価・課題	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による受診控えに対応するため、健診期間を約1か月延長して実施し、対象者の受診機会を確保した。 特定健康診査受診率向上のため未受診者勧奨（電話、ハガキ、封書による勧奨、がん検診との合同健診等）を実施し、受診に繋げた。 特定保健指導利用率向上のため半田市医師会と連携し、初回面接分割実施ができる医療機関の数を増加させた。 新型コロナウイルス感染症の影響で特定保健指導の利用率が減少した。コロナ禍でも安心して利用できる環境を整備する必要がある。 																																																				
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<p>改善推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診では、未受診者勧奨に加え、退職等の年度途中国保加入者に対して健診のPRを行う等、勧奨方法を増やす。 2年目となる血管年齢検査の効果を検証したうえで、利用率向上を図る。 オンライン会議システムを活用した特定保健指導の実施を検討する。 																																																				
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td>⑧削減余地</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地 —</td> </tr> </tbody> </table>					必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧削減余地	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —																																				
	必要性	有効性	効率性																																																			
	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ない																																																			
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧削減余地																																																				
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —																																																				

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用